

広報よもぎた

内容

- 第4回連合PTA研修会
蓬田っ子の心とからだ・暮らしをさぐる
..... 2~9
- 郷土の歴史・郷沢地区に大規模な製塩遺跡
..... 10
- むらの話題・範道塾誕生 11
- 行政コーナー・交通災害共済・行政相談開設
国民年金保険料改正・国の進学ローン...12~13
- 談話室・ヤングメッセージ・母親クラブ通信
戸籍の窓口・折々の歌.....14~16

No. 143



1.5キロコースに挑戦

歩くスキー教室

二月二十一日に総合グラウンドで、村民歩くスキー教室が開かれました。

小・中学生の体力低下が心配されているわが村ですが、蓬田中学校に歩くスキーが取り入れられて三年めになります。冬期間の体力づくりや、子供たちの筋力、持久力を鍛える方法として、効果が期待されています。

当日は午前中、小野松男先生（蓬中教諭）の指導で基礎練習をみっちり。約百二十人の参加者は汗をふきふき足の運び、腕の振り、傾斜地でのスキー操作などを学びました。午後は、付近の田んぼと畑に支柱を立ててつくった一・五キロコースで記録会を実施。地域の自然をそのまま利用し、だれでもできる歩くスキーは、今後住民スポーツの一つとして普及しそうです。

2月
3月

昭和57年

蓬田っ子の 心とからだ 暮らしをさぐる

…第4回連合PTA研修会…

蓬田村連合PTA（会長・坂本重彦）では、青少年の健全育成を目指し、毎年研修を積みかさねています。この研修は家庭での子供の姿、学校での実態や問題を持ち寄り、教師も父母も本音をぶつけあえる場として年々成果を上げています。

2月7日の研修会には、200人近いPTAのみなさんが中央公民館に集まりました。今回は小学校が『ねばり強い子供づくり』、中学校が『非行防止』をテーマに話し合いをしました。



1. 小学校分科会…ねばり強い子供づくり

社会的な 与え過ぎ はないか

話題提供 藤田尚政
(蓬小PTA会長)



このころ、わが村の子供たちの体力や学力の低下、非行の増加が気にかかります。高校へ入って一、二年でやめる人がかなり出ているとも聞きました。ねばり強く、がんばりのきかない子供が増えているからだと思います。

現在子供たちに現れた問題点の原因は、学校へ入る以前までさかのぼって分析する必要があります。例えば、わが村では牛を奨励しています。牧場は人間がつくっても、水飲み場、日かげ、牧草などは、牛が自分の足でさがし、食べ、育ちます。ところが売れる日が近づく、人間は口元までえさをじゅんじゅん運び肥育します。そして売りに出される。もしかすれば、これと同じこ

とが、私たちの子供にもあてはまるのではないかと感じています。物を落としても、忘れても、取りに行かずそのままです。親は親で、すぐ買い与えるという状態です。物の与え過ぎによる弊害が心配されます。

一貫したPTA活動を

子供たちを見ると、家中での遊びが増えました。われわれの時代の遊びは、自分たちでくふうし、道具もつくりました。人数が多いので、ちゃんと仲間のルールもあります。その中では我慢もしながら、社会性も経験していたはずで

わが村では、スクールバスでの登下校があります。これはある面から見れば、『社会的な与え過ぎ』だと考えられます。子供の話を聞いていると、なんでも楽な方へのバス利用がめだつのです。例えば、

「今日、寒いからバスで行くじや。」
「今日、遅れそうだから乗っていくじや。」
歩くことができる範囲の子供たちでさえ、こんな乗り方をして

いるのです。自分の意志と自分の足で、なんとか学校へ行こうとする気持ち

ちが欲しいのです。これが、心身の鍛錬につながっていくと思えます。これからは、保育所、幼稚園、小学校、中学校と一貫した形で活動をもつことができればいいと考えます。

体を動かした がらない 子供たち

話題提供 辻村一徳
(蓬田小学校教務主任)



子供たちの姿を見ていて、健康だなあ、いいなあ、生活力があるなあと感じることがあります。

一つは、遊びの中に活動的姿があるときです。体を動かして走り回る。たまに大きな声でけんかする。このような動きのある姿です。

二つは、話をしたとき目と目が会い、生き生きとした輝きがあるときです。『こういうことを

やろう」と言ったとき、さっそく『よし、やろう』と反応があるときは非常にうれしいものです。

三つは、係の仕事でも学習中でも、何かに熱中している姿は健康だなあと感じます。

ねばり強さを育てるには、精神的にも肉体的にも苦痛が伴います。これを乗り越えて、はじめてねばり強さが出てくると思います。

蓬田小学校の実態ですが、休憩時間、放課後でも、あまり体を動かしたがりません。子供は非常に喜んでくれるはずなんですが、特に女の子は外に出て遊びたがりません。教室の中で何をやっているかを見れば、マンガ本を読んでいます。

放課後、野球やミニバスケットという部活動があります。これも先生がいないとダメ。段階を踏んだ練習方法があっても、体力、持久力をつける運動を指示してもやろうとしません。

年に一、二回遠足があり、阿弥陀川林道を歩きます。女の子は、いくらか歩かないうちに、『休むべし』。少し休んで、『もう行くのが』という調子。目的地で弁当を広げると、ごちそうのところから動きません。山菜をさがしたり、飛びまわることもあまりしません。このようなことが学校生活の中にも、共通し

てあるのです。

授業中、集中力がありません。授業内容により、取り組む姿勢が違います。全校的に多いのがわき見。あくびをする子もたくさんいます。これでは友だちや先生の話を聞けないし、正しい受け答えもできません。

体育の時間、ボール運動は好きでも、筋力を使う運動がきらいです。自分が苦手を鉄棒はやろうとしないし、努力してみようとしません。

めだつ忘れ物

生活習慣が身につけていない子が多いようです。六月と九月に集中的調査と分析をしました。◎ハンカチ・チリ紙・名札を持つてきた

六月：八五割・九月：八〇割
◎家で決められた仕事をやった
六月：七七割・九月：七六割
学校では仕事をたいぎがるとい
う傾向があります。家で手伝い
をしている子供の仕事ぶりは、
学校でもすぐわかります。歯み
がきの調査結果をみても、一定
していません。

学用品の忘れ物がめだちます。極端な実例を一つ。三十数人中十九人がノートと教科書忘れたことがありません。五割以上で授業になりません。次の週も行ったら十五人でした。ノートも教科書も持ってこない子供もいま

した。

お母さん方にお願ひがありま
す。子供に家庭で仕事を与え、
体を動かすようにしむけてくだ
さい。それを最後までやり通さ
せるように。年齢に応じ、勉強
道具に子供たちが手をふれてい
るかどうか。子供たちが明日の
勉強道具をそろえているのを、
お母さんは確かめ、見る機会を
つくってほしいのです。

テレビの番組も子供まかせに
しているようです。寝る時刻の
約束を守らせてください。



話し合い

●ねばり強い子供づくりには、ねばり強い親づくりが必要だと感じました。

●私たちは今日のような研修に参加して、初めてさまざまな問題点を聞きます。子供たちはすでにおがって（成長して）います。せめて、保育所や幼稚園のころから親が勉強を始めれば、今より良くなると思います。

●先生がいないと体を動かさない、あくびをするというのは親も悪い。

●今の子はバスがあるため、朝はギリギリまで寝ています。そのため朝めし抜きて、親も『学校だ、学校だ。』と送り出す。朝めし食べない子は学校へ行っても昼まで空腹で、体も動かさないはず。

●こういう環境を親が反省すれば、まだまだ子供の体力がきます。バスをなくしてしまおうという意味ではありませんが、ある程度子供を歩かせてもよいという気持ちです。

●わが家の子供を見ても体を動かさないし、何かに熱中する時間も少ないようです。忘れものを学校へ届ける親が多いようですが、蓬田はどうですか。



【学校から】ときどき届くのは
 弁当です。授業道具はそれほど
 多くありません。
 ● 私は忘れものを絶対届けに
 いきません。宿題やってないと
 言っても、「残されてこい。」と
 おっちゃんて出します。
 ● うちの子がイラストの宿題
 を兄にかかせて、色だけ自分で
 ぬっていました。私はそれをバ
 リバリ裂きました。こういうこ

とをたまにやります。最後まで
 一貫してやらないのです。
 家でやっても学校ではやらね
 めし忘れても学校へ行けば、給
 食のおかずだけは食うにいい。
 こういう形が子供たちの中に、
 いっぱいあるようです。

● 忘れものしたこと、親はわ
 かりません。忘れたとき学校は
 どういう対処していますか。毎
 日忘れても先生が何も言わない
 と、ますます増えると思います。
 いっぱつ、ゴッソ、などあって
 もよいのでは。(父親の意見)

【学校から】 十九人忘れたと
 きは、しょうがないと思い、別
 な仕事をさせました。二週めは
 十五人です。忘れた子を全部前
 に出し、頭を一つずつ、ゴン。
 今日は頭たたかれたと家で言う
 ようにと、子供を掃きました。
 家庭からの反応をみたかったの
 です。

これに対する反発は、私のと
 ころにとどきませんでした。
 『だれに言った。』
 『お母さんに。』
 『お父さんに言えはいいのに。』
 『お母さん、なんて言った。』
 『お母さん、黙ってた。』

これは学級担任に通してあり
 ます。学校では年輪的なもの、
 学級の特徴に合わせ、学級担任
 に処置がまかせられています。

実際五、六人も忘れれば、たい
 へんなのです。
 子供は忘れものをして、そ
 の時間さえ終われば、それでお
 しまいという気持ちがあるよう
 です。

● よその子が持っているもの
 何でもほしがります。マンガ本
 友だちと交換で一か月ごとに買
 ったらと言ったら、付録がほし
 いと言いました。それでも買っ
 てやらず、一か月我慢して来月
 買うことにしました。
 小さいときから我慢させない
 と、中学校になればもつと大き
 なもの欲しがります。今のうち
 だと思つて、我慢させていま
 みなさんの家庭はどうしていま
 すか。

● わが家では、一日五十円、
 一か月千五百円の中からマンガ
 本を買つて、残りでおやつを買
 います。つきあっている子の中
 には、一日二百円、三百円も使
 う子がいます。うちの子は二年
 生ですが、子どもと話し合つて
 使い方を決めていきます。

【学校から】 高学年はやれば
 やるほどいいものが出てきます。
 たたけばたたくほど良い音色が
 出るし、作品もできるのです。
 私たち教師もいっしょうけんめ
 いやらなければと感じます。
 私たちもがんばりますが、家

蓬田村の小・中学校生徒の健
 康状態は、決して他の町村に劣
 りません。体格的には標準的
 数値を持っています。ただし、最
 も劣るのが筋力です。
 筋力がないと、足の力、背筋
 力、腕の力がありません。今日
 のテーマにある、ねばり強さも
 なくなるわけです。さらに、ち
 よつと転んでも不思議なほど骨
 折します。
 骨折は食べ物を考える人が多
 いと思います。食べ物だけで骨
 の質が悪いのではなく、骨を支
 える肉に力がないから折れるの
 です。骨を包む肉ががっしりし
 ていると、少しぐらいぶつかっ
 ても骨に直接影響いきません。
 小・中学校とも筋力を鍛えるこ
 とが必要なんです。
 さきほどから通学バスのこと
 が出ています。隣の後沼も小・
 中一校ずつですが、歩いて通学
 しています。距離的にも高根を
 除けば、ほとんどかわりありま

筋力を きたえる くふうを



助言者 大沢 保
 (蓬田診療所所長)

せん。通学バスの件は、子供を
 育てるために、ぜひ考えてみる
 べき問題です。
 昔はまき削り、庭そうじなど
 労力的手伝いがたくさんありま
 した。雪かたづけでも何でもい
 いから、体を動かす手伝いをさ
 せてください。社会科の学習に
 は、バスを利用した遠足も必要
 かと思えます。最初から遠くま
 で行かなくても、子供たちの体
 力に応じた徒歩遠足を増やして
 みるのも、体を鍛える一つの方
 法です。

学校の保健室で、腹痛い、頭
 痛いといふ子供がいます。この
 大部分は朝メシ抜きです。お母
 さんは、朝ごはん食べさせる習
 慣を絶対守つていただきたい。
 ごはん食べるには少し早く起き
 なければいけないし、非常に健
 康にもいいでしょう。
 小学校には肥満児がいます。
 中学校へ行くとい、二年もしな
 いうちにやせて筋肉がしまつて
 きます。小学校の肥満児対策も
 ひとつ考えてみる必要があるま
 す。

ねばり強い子供づくりですが、
 子供の精神発育の基礎は満三歳
 までの幼児期です。保育所など
 の教育はもちろんですが、満三
 歳までの親のしつけが、小学校、
 中学校へと尾を引くことまちが
 いありません。

PTA研修

続けさせる ことでねば り強さを

助言者 向井 徹
(東青教育事務所
主任指導主事)

私たちをとりまく社会は、便利で能率的な方向へ変化していきます。服のボタンひとつ取り上げてみても、ボタンよりファスナーです。ボタンをかけるには手先を使い、かなり辛抱強くなければいけません。子供の生活は衣類をとってみても、ねばり強い心を育てるのは、逆方向へ進んでいます。

「貧乏は最高の教師」だという言葉があります。世の中がこうに激しく動く現代では、

庭では何か一つ、小さなことから続けていけるように。それにはお父さんお母さんも、ときどき病気になるたふりをする方がいいと思います。私は子供を育てていて病気でなくても、

「お母さんは今日は病気だ。」と言って寝込むふりをしてみます。そういうお母さんになることも必要だと思います。

いつも元気でいると、何でも

やっつけてあげます。たまにはお母さんもカラボネやんで、子供に手伝ってもらおう。子供はそこで親の仕事はどういうことかと気付きませう。そこから学校へ来てもがんばる気が出ます。

ほんとうに蓬田の子供はいいものを持っていきます。高学年はいくらでも気長にやっつけていける力を持っています。ただそれを「やらない、やらせない」だけ

なかなか通用しません。通学バスの件では交通事故の問題があります。歩かせるにしても、昔どおりやれるといいのですが、いろいろ社会的問題がからんでくるところに、現代の問題があります。

例えば、学校から遠いから、両親が仕事に出るからといって車で送ってきます。「友だち歩いているから、ここで降ろす。あとは歩いて行け。」と言う父母が少くない。学校の玄関まで横づけで来るのです。ここら辺も反省する余地があります。

今、子供たちに必要なのは、
「がまんすることを身につける。ことと。続けさせる」ことです。朝一人で起きられるか、歯みがき、手洗い、食事のときの正しい姿勢、自分の部屋片付け、るすばん、おつかい、自転車のそらじなど、家庭によってやり方がかなりあるはずですが、

です。今日の研修を機会にやっつけてほしいのです。

●今日の研修会にバスが出ました。こういうとき親がバスを利用せず歩いたり、汽車で来たら子供の手本になると思いませんか。

うことで総合的ねばり強さが育ちます。体を動かせば体力もできあがってきます。体力と気力は理論上分けられても、実際はこれが体力、これが気力だと分けられません。体力がつくと気力もつく。気力を養えば体力もつくでしょう。

P T Aは地域の子供会活動に力を入れてほしいと思います。昔は火の用心をやったり、黙っていても部落対抗リレーの練習をだれかりーダーになってやっっていました。そういう光景が今はありません。交通事故などの問題でいつしかやめたと思いませんか。

もしやろうとすれば、地域住民の共通理解がないとできません。P T Aはそういう条件をそろえてやることに目を向けてほしいと思います。

“観る心”を 働かせてほ しい

助言者 我 昭
(蓬田小学校校長)

田植えは、農家にとって春先のいちばん大きな仕事です。それが終わったとき、「あー、さっぱりした。やれやれ。」という感じがあるはずですが、さなぶり休みは、家族が力を合わせ田植えをなしたとけた気持ち、完成したうれしさをわかちあつたものだと思います。

子供の心にも「ものにつかつていって、自分の力でなしとけたんだ。」という人間として最も基本的な喜びを育てたいと思います。私たちの学校は、最後までやりとげる子供」という目標を掲げています。そういう子供がたくさんいる学校をつくらうと、あらゆる活動を展開しているのです。

辻村先生から忘れ物の件、私も報告受けました。先生は「ちょっとやりすぎたかなあ。」と言っていました。「それでいいんだ、たまにカツ入れるのもいい。」と私は言っていました。

父母からは何ともきませんでしたが、みなさんが学校を信頼し、理解してくれるからだと思います。

大工さんが道具持たずに仕事に行ってもしょうがないでしょう。子供にとって教科書とノートは仕事道具です。

子供は学校で何かあると、目が落ち着きません。それを見抜く母親になつてほしいのです。ただ「見る」のではなく、「観る」心を働かせてください。心の不安は必ず目に出ます。それをパツと見抜けるからこそ母親は観音様なのです。

P T Aは父母と教師の会です。「父母」と書く父が先で母があとです。お釈迦様の時代は「母父」でした。日本でも万葉集の中に「母父」と出ています。母こそ子の命をはぐくむ力です。かけがえのない子供たちを育てるために、互いに力を合わせていきましよう。



非行防止にはどんな手だてがあるか

蓬田っ子の
中にある
問題点

話題提供 吉田武弘
(蓬中学生指導主事)



非行には、自分で自分を傷つけたり、他人に迷惑かけたり、触法行為といって、法律的犯罪など、さまざまな形があります。昔は格好だけで、それとわかりましたが、今は発見されないで一つや二つみんなやっていると思われれます。

1. 進学について

学校では高校進学のため、生徒・教師・親の三者面談をやっています。ある生徒はエンジンア希望でしたが、最終段階で別の高校へ入学。入ったとたん、『なも、おもしろくない。』友だちに話したら、『わも、おもしろくない。』四、五人仲間が集まり学校をさぼる。

こういう場合、最終選択の決定がお母さんにあるのか、生徒にあるのか悩みます。このケースは母親の決定でした。生徒自身も私立の自動車科でがんばりたいと意志表示すればいいので

すが、なんとなくお母さんにまかせてしまう。先生がこっちに交えたらと言ったとき、もう少し目標にむけてがんばるといいう気持ちも不足です。

高校へ入ることを中学校の学習目標にしていれば、高校へ入ったことで目標達成という感じがあります。あとは勉強したくない。友だちの誘惑もある。とうとう退学という現象も出ています。

2. 親・家庭の問題

非行非行と言っても、健全な生活をしている子供が大部分です。同じ教育を受けながら、わき道へそれる子供が出るのは、親、家庭の問題が大きいと思います。例えば、幅広いズボンを買ってくる。親は口だけで、『それ学校ではげばまね。』子供ははいてきて、注意を受ける。家庭は、『はかせない、買わせない。』というところまでやってほしいのです。

『なして、学校で太いズボンにはげばまねのや。』『おいのワラシ、何はいでも関係ねべ。』自分の頭さソリ入れるのは勝手。』など、規則があることに対し、子供も親もいっしょになって抗議する場合があります。きまりがなぜあるのか。それを守ることはどういうことなのか、家庭でも話し合ってください。

3. 道徳観

道徳の授業の教材です。あるお父さんが店へ行き、店のおばあさんがいないときに、チョコレートポケットへ入れました。どうして正直に返さないのかと言う子。見てもいないのに、なぜ犯人と決めつけるのかと言う子。電話や手紙で謝ると言う子。学校でも、サイフや時計がなくなりません。騒がれて良心がとがめるのか返ってくることはありません。この返し方にしても、はたしてこれで謝ったことになるのか。ほんとうに反省しているのか疑問です。

4. 生徒の特徴

学習への興味を示しません。どういう職業人になるかという将来の希望がはっきりしていないからです。大学進学率も低いようです。家庭での学習が足りません。一日一回必ず机に向かう生徒にしたいものと学校でも考えています。小学生のころから、復習や宿題を必ずやる習慣をつけさせてください。

我慢する、がんばってやるという忍耐力が落ちていきます。スポーツでは持久力、懸垂力が劣ります。寒ければ寒い、暑いとグラードで、自分の心に甘えている状態です。



蓬中祭…さあ、いらっしやい。3冊100円だよ。

返事やあいさつ、発表、並ぶとき、なるべくめだたないように、自分をかくそうとするくせがあります。みんながやっていると、おらも同じくつ、同じジャンパー、同じスキーという傾向があります。みんなと同じであれば安心していられる。自分だけはこれでいいんだという強い気持ちがあります。

5. 学習の目的

なんのための勉強かと問えば『自分のためだ。』と答えます。それでは勉強しないのも自分のためかということになります。途中で投げ出したり、うまくい

かないと世の中のせいにする風潮が目につきます。

学校でさまざまな勉強します。これを行動に移すのが地域社会です。子供にとって地域の大人たちは社会生活の先生です。大人たちは子供たちに声をかけてほしいのです。中学生にもなる体も大きいし、中には『うるさい』とか言う生徒もいます。それでも蓬田村の子供です。地域社会の中で見守り、はぐくんでいきたいと思えます。



親・子・先生 の心がつな がるように

話題提供 青木タツ子
(蓬中PTA副会長)

非行防止は私たち父母にとつて大きな問題です。最近、校内校外非行発生非常事態宣言を出したことは、先生方にとっては勇気のいることだったと思いません。私たち父母は感謝していま

非行は身近なところから芽ばえと聞いています。新聞に中学生の意識調査が出ていました。行動面については、外泊、さぼり、万引き、タバコを吸う、人前でめだちたいという意識。家庭では、どなる、たたく、イライラする、くやしい、あせりがある。親にいろんなこと話そうとしても聞き入れない。言ったことに對し、いつまでもグズグズ小言を言う。校内暴力については、先生のしかる態度や言葉が悪い。わかってくれない。悩みは成績のこと八四・七割。わが校にも共通するものがあると感じました。

学校と家庭の連携がだいいじだと思えます。一家団らんをしてるか。物を与え過ぎていないか。学校からの印刷物や学校だより、学校行事について子供といっしょに目を通して会話をしているか。学校行事や地域の行事に親が参加しているかなど、いろいろ考えさせられます。学校にお願いしたいのは、思いやりある心で子供を指導し、先生と生徒の信頼関係が生まれたいです。

中学三年生の息子に、教頭先生から年賀状がときました。中味を見たら激励の手紙でした。手紙の返事をいただけただこと、息子にとつて、とても良かったと思えます。一月の「なごみ」に、年賀状紹介があります。受験目指してがんばるという子。ぼくは先生の手におえない悪い子だったけど、先生はぼくのこころを忘れないでください。というもありました。

子供は先生をどう見ているか。親は先生をどうとらえているか。先生は子供をどう受けとめているか。親と子と先生の心がつながつてほしいのです。地域にはいろいろな組織があります。組織を動かすには、自分から行動する必要がある。PTA活動を振り返って感じるのは、年々活動に参加する父母が減っていることです。子供は卒業しても、地域住民の一人として、村の子供を見守っていきたいと思います。

話し合い

● 進路について三者面談の通知があり出かけました。娘も私も希望校を出したんですが、テストの結果を見せて、この点数ならこの高校だ、もう少しがんばってほしいとのこと。
● 中学二年生ですが、何か決めつけられてしまうような感じがします。その日娘といっしょに帰りました。娘は気持ちがあせると言います。今から決めつけるよりは、別な方法や勉強の仕方を指導してもらいたい。

● 【学校から】 入学したい生徒が定員オーバーになると競争になります。二年生から三者面談を始めたのは、早く意識してもらい、目標校に入学できるようにがんばってもらいたいからです。
● あまり早くから言われるとうまくいかないということですが、今まで二時間やってきたのをもう少し増やすとか、激励の意味もありです。学校側の説明が舌足らずの場合もありますので、とりよつては、逆にこれのことでもあったかと思えます。
● 今はやりの格好にაცოგაれる傾向があります。服装の乱れは非行につながると思っています。
● 親のしつけがピンとしないから、子供がシャンとしない。
● トレシヤツと同じく、その下に着るものも、村内で同じものが買えれば親は助かります。何か流行すると親もすぐ買ってやります。子供に負けない、流行にふりまわされない親になりたいものです。
● PTA活動のほかに、子供会活動やっています。蓬田の子供をつれて、少年自然の家や青年の家に出かけますが、村内には優秀な子供もいます。積極的に意見も述べます。
● 私たち父母はPTA活動だけでなく、地域子供会活動にも力を入れたなら、一つの非行防止対策になると思えます。
● うちの子も春から中学校です。子供の非行原因は家庭にあると思えます。もう少し男親がビシツとしないと。特に母親が甘い。物を買ってやるのは母親です。はやりの服を買うにも、母親がついて行つたり、一万円札持たせて青森で買ってこいと言う。中学生にもなると子供にお金を持たせ、親がついていかないうちの家が多いようです。親が子供を甘やかしています。
● 高校生を親が殺した事件があります。今の子供は大人が持っているものを何でも持っています。次から次とオートバイなど大きいものを欲しがります。

親が甘やかした結果だと感じました。

● 私たちが子供のころは、親が絶対でした。今はそれが通用するの男親として私も悩んでいます。男親としてふじやまなと言われるかもしれませんが、その辺に男親の悩みがあると思っています。

しかるにも、タイミングをどこにとつたらよいかと思案します。

● たたくだけの気持ちがあつていいと思います。PTAは親と子の対一です。子供会は全体のことで、私は子供会でふたぐ一歩手前までいくことがあります。学校でやれないことを私たちがやってみたいと考えています。

● 学校では今まで表に出さなかつたようなことを、つつみかくさず出していきます。息子は家では無口ですが、学校ではよく話すそうです。家庭での子供の半面と学校での半面をつきあわせてみる必要があります。

● 蓬田は三世代いっしょに暮らす家庭がまだまだあります。親子だけでなく祖父母も含めて話し合いをしたら、効果的だと思います。

家庭教育学級など学習に参加するお母さん方はけっこういます。ところが家庭で実行できなかったり、うまくいかない場合



もありました。うまく実行するには、祖父母の協力もだいじだと考えています。

● 中学生にもなったのだから、隣近所あいさつして歩くんだよと言っています。そしたら『だも行き会わないもの。』という返事でした。ところが、『おめだの子供、朝ちゃんといさつして歩くよ。』と聞き、下の弟の方にも言いつけています。

声かけられ人が、『あれ、どこの子だべな。』と思うようになります。たとえ悪いこととしても、ふだんのふれあいがあれば、注意しやすいと思います。そういう雰囲気地域につくりたいものです。

● 事件が報道されたとき、あんなはどう思うかと聞いたりします。『親も悪いけど子供も悪

い。』とか、『子供には子供の意見がある。』としゃべります。私も考えさせられるし、娘も私と言った言葉で考えるようです。たまにこういう時間もいいものです。

うちの娘もやりのジャンパー欲しがりました。青森へ出たとき、『あの子も同じジャンパー、この子も同じジャンパー。みんな着ているジャンパーあんなも着てが。お母ちゃだば、自分と同じもの三枚行き会えば着たぐねなあ。』と言いました。娘は『ずんぶ同じジャンパーあんな。あきらめた。』と、それ以来欲しがりません。

子供の気持ち押さえる、ちょっとしたきつかけになったと思えます。

● 中学校入学の説明会で、体育の部活動は全員入ると聞ききました。部活動が終われば、晚七時です。勉強に専念する子や、子供会いっしょけんめいやる子があつてもいいと思います。初めての中学生で、まとはずれの質問かもしれません。どうして全員を入れるのですか。

【学校から】 体育的なものを全員がやるねらいは、中学時代何か一つのことを思いっきりやらせて汗を流させたいと考えるからです。本校の場合、施設や教員構成からいって、体育的な方がむいています。

学校が普通に行くと四時三十分です。部活なしで帰つても、他に力いっぱいやるものはありません。それなら、時間いっぱい自分の好きなものを学校でやった方がいいと思います。部活は体育、文化向方が望ましいのですが、文化的部活は週に何回もありません。体育的な部活は毎日やっています。各部には先生を二人ずつ配置し、先生方もがんばっています。

面倒みがよすぎる親たち

助言者 柴田豊次
(東青教育事務所) 教育課長

前提として、子供の心には善なる種があります。そうでないと、子供を育てたり、学校で教育するのは徒勞です。子供は大人の鏡であり、私たちは謙虚に自分の生活を顧みる必要があります。

学ランの中学生がいます。町を歩いても、学校にいても白眼視されながらなぜそういう格好するのか、どんな意味を持つのか、つっぱった末に待っているものは何か、知りたいし、知らせたいと思います。

みなさんの中から父親がしつかりすべきだと発言がありました。さらに、母親が子供に欲しい物を買ひ与えるという問題が出ています。私はいろいろな学校の授業をみます。必ずつっぱり子供が何人かいます。決まってそういう子はあくびをしたり、隣にちよっかい出したり、消しゴム投げたり、後ろにお客がいてもやっています。先生は無視しています。学校でも考えてい



ますが、その土壌である家庭も努力してほしいのです。

中学三年の子供が部屋に鍵かけて何やっているかわからない。親が子供の部屋に入らないということがまかり通っているのです。夜食を十時ころ母親が持つて行く。なぜ親は火を加えればできるようにして、食べたなら火を加えないと言わないのでしょうか。子供にべつたりで面倒みやすすぎます。身近かなこのいうことを子供にやらせてい

ないので。

忘れ物をした。家へ電話をすると親がハイヤーや自家用車で届ける。これは日常茶飯事です。困った方がいいじゃないですか。忘れたのが悪いのだから。こういう経験の積み重ねで子供も身につけてきます。

両親もそろい、経済的にも普通の家庭からつぶし、非行に走る子供が多い原因の一つは、ここにあると感じています。

子供をしかりるとき、母親はくどくどとしゃべります。何を怒っているのか要領をえません。子供の人格まで傷つけています。

その人がやった行為だけを端的に、具体的に示すのではなく、くどくど以前のことまで持ち出して、『だからお前はだめなんだ。』と、人間丸ごとだめにしてしまふ。これはいけないと思います。

戒められるべき行為そのものがいけないのです。要領よく、短かくズバリと言ったなら、子供もその行為を改めるでしょう。

数日欠席が続く子供には、学校で家庭訪問します。ところが子供の家庭での生活や休んだわけを家の人はなかなか話しません。これでは学校も対策に困ります。学校と連携をとるためにもご協力願います。

「カラスの勝手でしょう」がやりました。昔はカラスが子



たくましく生きる人間に

助言者 伊勢 正
(蓬田中学校校長)

助言者となつていますが、中学校の責任者でもあります。子供の中学時代は反抗期であり、いたずら、やんちゃ、わんぱくぼうずでもあります。我々親の力でねじふせて、ただそれに従順な子供をつくるのが目的ではありません。

素直であつて悪いというのはありません。ただ言いなりにおとなしくしては、今の社会を乗り切つていけないと思います。イタズラは非行との関係で少々問題がありますが、人間が成長していく過程の一時期でもあります。たくましく生きていく人間に育てるにはどうしたらよいか、非行に對しよう対応していくか、学校でも努力していますが、家庭でも考えてほしいのです。

この点、蓬田はまだ恵まれた環境です。地域的にも村民性にも、子供のようすからしても、みんなが結束したら太刀打ちできるかと希望を持っています。

わが校でも、たばこのんだ、バイク乗つたと問題は起きます。しかし、そのことで無断長期欠席する子は一人もいません。先生にしかられ、親にしかられながらもきちんと出てきます。そういう点では素直な面を持っています。

世の中の汚染から子供を守るために学校も努力します。地域でも対策を立て、やれるものはどんどん互いにやっつけていきたいと思ひます。

実践活動目指して

研修会での話し合いから、家庭・学校・地域・行政が取り組むべき課題が提出されました。その課題を分析し、どのような形で実践活動へ移すが今後の問題です。

- ①児童、生徒の体力増強（歩く運動、スポーツの奨励）
- ②非行の未然防止（部落懇談会の開催・スポーツの奨励）
- ③あいさつ運動の推進（愛の一声運動・子供会との連携）

- ①については、小学校PTAが中心となり、②については中学校PTAが検討、③は小中の教頭先生が県内の実践事例を収集し、次回の会議に提出することになりました。三月中に具体的な活動計画をつくり、村民会議とも連携をとりながら、四月からスタートの子定です。

郷土の歴史

— No.19 —

郷沢地区に大規模な製塩遺跡

郷沢の小猿柏雄さんから、診療所の隣の測溝からたくさん土器が出土しているとの連絡がありました。今年の一月中旬のことです。さっそく現場へ行ってみると、国道の測溝工事のところに、たくさん土器片が散乱していました。集めてよく

見ると、赤茶けた無文の土器です。それも白砂式土器という製塩土器でした。製塩土器とはその名が示すとおり、土釜を作りその中で海水を煮沸し塩を作る土器です。縄文の時代から塩を土器で作ることは行われていたが、郷沢の場合は歴史時代のもんです。製塩遺跡は図のように陸奥湾沿岸に集中して

います。診療所の近くにこのような製塩遺跡が存在することは、この一帯が浜堤であり、砂丘状の浜が郷沢一带に続いていたのがわかります。図に郷沢とあるのは、現在蓬田紳装が建っている場所です。小猿さんから連絡があるまでは、丘陵にばかり遺跡があると思っていたのに新しい発見でした。郷沢部落の歴史を解明する手がかりになります。

蓬田城は大きな城です。鉄製品は城内で作れました。出城と言われる長兵衛流れからは、たくさん鉄かすが出ています。しかし、人が生きていくうえで必要不可欠な塩の生産がどこで行われたかという疑問が前からありました。

白砂式土器は平安時代から鎌倉時代にかけての製塩土器です。このことは、蓬田城主が治めている区域で使う塩が、ここで大規模に製造されていたのです。余剰分は交易に使ったかも知れません。

製塩遺跡の発見は、蓬田城の生産面の一つを物語っています。そして武士とは違う製塩技術を持つ人々の集団（職人）が、郷沢に住んでいたのです。

（文・倉谷弘孝）

次回は、郷沢地区からほぼ完全な形で発見された円筒型土器について掲載します。発見者は小猿さんです。

歴史時代……人類の過去のうち、文献資料によって知ることができる時代。



…郷沢でみつかった白砂式土器片…

礼で始まり礼で終わる

三上 範夫

塾を開ききっかけは、第一に自分で柔道が好きでたまらないからです。

青年団ではこれまで、中学校の体育館で柔道の練習をしてきました。これも夏場だけなので、

一年中練習できる道場があればいいと思ってきました。

三年ぐらい前からわが家の車庫を建てる計画があったので、二階に道場をつくろうと思いついたのです。しかし一人ではできないので、青年

団の柔道仲間や先輩のみなさんに相談したら、協力するからぜひやれと言われました。計画も順調に進み、今年一月三十一日には道場開きを行いました。

近年、新聞紙上で青少年の非行が話題になっていています。私たちは身近な世代として、決して見逃すことはできません。そこで私たちは、彼らに何らかの手を差し伸べたいと思い、「礼で始まり礼で終わる」柔道も一つの良い手段だと考えました。健康を目指す柔道、精神を鍛える柔道です。柔道を通して、子供たちが健康で礼儀正しくなっしてほしいと思います。範道とは、模範となって道を示すという意味です。「塾」としたのは、昔の塾の良さやあり方を目指したいからです。

とにかく、みんなが楽しく集まれる場にしたい。塾生ともども一歩一歩着実な歩みを進めていくつもりです。



範道塾誕生

(1月31日：塾鏡開き)

- 塾代表者 三上範夫(28歳)
- 指導者 坂本信義・坂本 太
坂本浩行・三上行男・小鹿正博他8名
- 練習日 4月2日から
小・中・高校生…月・水・金週3回
一般 ……毎日
- 対象者 小学生・中学生・高校生・
一般は年齢・性別問わない
希望者や詳しいことを知りたい方は 電話2833まで。
- 連絡先

むらの話題

やさしい歌声を競う ローラーカナリアコンテスト

今年1月に函館で開催された『国際カナリアコンテスト』で、わが村の細谷靖信さん(蓬田)が育てた鳴きカナリアが若鳥の部で第2席、親鳥の部で第3席という優秀な成績をあげました。ローラーカナリアは、コロコロ…と鈴をころがしたようなやさしい美声を奏でるカナリアです。コンテストでは9種類の鳴き方がチェックされ点数をつけるそうです。

細谷さんは5年ほど前から飼育を始め、現在50羽ほどいます。飼育で注意するのは雑音を入れないこと。若鳥には歌の上手な教師鳥をつけて歌を教えます。

◎飼育してみたい人はどうぞ連絡ください。
小松国光(阿弥陀川) 電話 2463
細谷靖信(蓬田) 電話 2270



学校の定期健康診断

どこの学校でも、新しい学年になると身長・体重の測定や、校医の検診があります。これは学校保健法という法律で、どの学校でも六月三十日までに行うように決まっているからです。

検査する項目

- ・身長・体重・胸囲・座高
- ・栄養状態
- ・脊柱・胸郭の疾病および異常

- の有無
- ・視力・色覚・聴力
- ・目の疾病および異常の有無
- ・耳鼻咽喉疾患および皮膚疾患の有無
- ・歯および口腔の疾患・異常の有無
- ・心臓の疾病および異常の有無
- ・尿
- ・寄生虫卵の有無
- ・その他の疾病、異常の有無

家庭での配慮

- ① 健康診断の日程が学校から知らされます。前日には入浴させ、下着類も清潔なものを着用させます。
 - ② 結果が学校から知らされます。子どもの身長・体重・胸囲などをよく見てやっつけてください。学年平均や全国平均と比べて、自分の子がどんな体位かをつかんでおくことがたいせつです。体重は健康のバロメーターです。以前との増減に注意してください。
 - ③ 疾病や異常があった場合は、早期治療をしましょう。
 - ④ この機会をとらえて、健康を守るためのよい生活習慣をつけさせましょう。朝晩の歯みがきとか、肥りすぎの子にはきまった運動を続けさせるとかします。
- 健康診断から、子どもの発育と健康状態・身体的特質・疾病や異常の程度を知ることができます。ぜひ、健康診断の結果を活用して、子供の健康増進に役立ててください。

一日一円で家族の安心を 交通災害共済

窓口・総務課

共済見舞金の額

災害の程度	等級	金額
死亡した場合	1	800,000円
実治療日数180日以上で	入院180日以上を含む	2 150,000
	入院90日以上180日未満を含む	3 130,000
	入院30日未満又は入院なきものを含む	4 110,000
実治療日数90日以上180日未満で	入院90日以上を含む	5 80,000
	入院30日未満又は入院なきものを含む	6 60,000
実治療日数60日以上90日未満	7	45,000
実治療日数30日以上60日未満	8	35,000
実治療日数10日以上30日未満	9	25,000
実治療日数10日未満	10	15,000

会費（掛金）

一八年間 三五〇円

加入申込み

交通災害共済は、県内の市町村で構成している共済組合です。村の住民基本台帳に記録されている方は、だれでも加入でき、手続きも簡単です。

対象となる交通災害

自動車・自転車・荷車・バイクなどの交通事故による災害が対象です。相手方のいない自転車やバイクなどによる自損事故も対象になります。

三月中に各地区の行政連絡員が、加入申込書をみなさまの家庭に配布します。家族そろっての加入をおすすめします。

五十六年度中に見舞金を受けた人は十人、額にして百二十万円になります。一日一円で家族の安心を。

行政相談を開設します

行政相談とは、役所や公社・公団の仕事について
①説明がもっとくできない
②処理がまちがっている
③処理がおそい
などの苦情、要望をお受けして、その解決や実現を図るとともに

るものです。法律や手続きなど、日ごろお困りになっている方はどうぞご相談ください。これない方は、いつでも電話や手紙でも受け付けています。

開設日

三月二十五日（木）

午前九時から午後四時

●場所 中央公民館

●行政相談委員 室谷 清

●担当 総務課



○国民年金の保険料が改正になります。

四月から五二二〇円

に変わります。

国民年金は国が責任をもつて運営する年金制度です。老後はもちろん、障害や死亡事故など、日常生活に異変があったときなどに生活のささえとして大きな役割を果たしています。

わが村では、現在一四三四人が、老後生活に備えて加入しています。

増える年金受給者

現在、国民年金の保険料は、四五〇〇円ですが、今年の四月から一か月分が五二二〇円

これは、老齢年金の受給者が増え続けていくのと、年金額が物価上昇などに合わせて増額するために、給付の不足分を補う国の負担額も増え、被保険者の保険料負担額も増えていくためです。

国民年金では、年金給付額の三分の一が国庫補助され、加入期間短縮による特別加算部分については、さらに手厚い国庫補助が行われています。このようなことから保険料が改正になりますが、みなさん

のご理解と協力をお願いします。

保険料は生かされています

国民年金の保険料積立金は保育所や病院など、市町村の公共施設の充実に利用されています。これらの積立金運用から生まれる「利息」は、そつくりそのまま、みなさんが年金を受けるときの財源に積み立てられます。

わが村ではこれまで、保育所・総合運動場・児童館・診療所・老人憩いの家の建設財源として活用しています。

国の進学ローンのご案内

二年続きの農業凶作は、青森県経済に大きな影響を及ぼしました。一般のご家庭でも、教育費負担の増加など厳しい状態です。

国民金融公庫では、今春高校や大学への進学生を持つ父兄のお役にたつ「国の進学ローン」を扱っています。入学金や授業料、教科書代、下宿の敷金、制服の資金として利用できます。

①利用できる方
高校、大学などに進学するための資金を必要とする方。

②融資金額
一世帯当たり 五十万円

③融資期間

高校三年以内、大学四年以内、交通遺児家庭、母子家庭は一年延長できます。

④利率 年八・三割（利率は変わる場合があります）

⑤保証人 一人以上

⑥取り扱い期間

五十七年一月～五十七年四月
⑦返済方法
毎月元利均等返済（ボーナス月増額返済を併用できます）

●かわしくは、
国民金融公庫青森支店
電話へ23-23331
青森市長島一丁目4の2



母ちゃんの省エネ作戦

生活の中での省エネルギー…洗顔

- ① 歯みがきは、水をコップに入れて行き、水道のたれ流しをしないようにしましょう。歯みがきの時間を約3分とすれば、約42ℓの水が流れてしまいます。4人家族で朝と晩なら336ℓ、石油かんにして約19杯の水をムダにしています。
- ② 洗顔も水を洗面器に入れて行うようにしましょう。
- ③ 水を汲み終わったら、蛇口をきちんと締めましょう。たとえば、蛇口から1秒に1滴ずつもれていても、1日にバケツ3杯ぐらいになります。

●蛇口から出る水の量の1例

(13mm口径)

	1分	1時間	1日
蛇口全開	約18ℓ	1,080ℓ	
蛇口一ひねり	約14ℓ	840ℓ	
糸をひく状態の水もれ		約12ℓ	約300ℓ
しずくが落ちる水もれ		約1.3ℓ	約30ℓ



ヤング
メッセージ
No.23 松本淳司・25歳
長科



談話室

若者がいる風景

私は若者のいるところが好きです。

若者が何気なく集まり、何かしらの話をし、ゲームをして、酒を飲んでもいい、ゲームのない語り合いでもいい。暇なときにそこへ行き、行けば若者がいて悩みや喜びを語り合える場、私はそんな

たまり場が好きです。

青年団も、それと同じものだと思います。村に若者がいて、青年を通じて知り合い、語り合い、いっしょに楽しんだり苦しんだりします。しだいに悩みを打ち明けるほどの友、切っても切れない仲間にもなります。このような中か

ら、互いに村のため、仲間のため、自分のために行動し、生活していくのではないでしようか。

青年団が集まれば酒ばかり飲んで、何をやっているのか。あんなところに、うちの娘を出せるわけがない。などと言う人もいるそうです。一部の人がたちから見れば、そう見えるかもしれない。けれども、それは大きな間違いです。

たしかに若者は酒も飲みます。夜も遅くなったりします。けれども、夜遅くまで思う存分語り合ったりする中に、青年団のいけばんたいせつなものが含まれている気がするのです。

若者はどんな小さなことにも喜び、悩み、苦しみます。今のこの時代は物質だけに恵まれ、人間としての真のコミュニケーションが薄れています。利己主義の人間が増えつつある中で、この青年団時代がいけばんたいせつなときではないでしょうか。

そのためにも、地域の人々の青年団活動と若者に対する理解が必要だと思えます。若者はどんどん成長します。

お別れの
あいさつ
蓬田警察官駐在所
前田 進

この春、三月末をもって、蓬田警察官駐在所を最後に退職することになりました。

警察に職を奉じてから三十六年余にわたる長い間、大過なく無事職務を果たし得たのは、これもひとえに皆さまのご指導ご支援によるものと、ただただ心から感謝しております。

特に私にとりまして、最後の思い出の勤務地となりました。蓬田駐在所勤務の三年間は、村民のみなさまには、格別のご厚情ご協力を賜りました。じゅうぶんにご期待にそえず退職することを、誠に心苦しく思っております。

海と田んぼの自然に囲まれ

た村。そして人情豊かなこの住みなれた土地を離れるかと思つと、名残り惜しい気持ちでいっぱいです。

でも、おかげさまで楽しい日々を過ごさせていただきました。このことを終生忘れぬ思い出として心の奥深く刻み、またみなさまとの出会いをたいせつな宝として、これからの第二の人生に新たな気持ちで最善の努力をするつもりです。

どうか村民のみなさまも、健康で明るい住みよい村づくりにがんばってください。最後に、蓬田村のますますのご発展を願ってやみません。



母親クラブ通信 ④

郷沢母親クラブ



会長
小野弘子

あつたかい母親に

郷沢母親クラブが発足したのは七年前で、初めに発足した地区より一年遅れました。当時、子供会が先になって活動していたので、私たち母親クラブもついていったような状態です。

児童館に役場の人に来て母親クラブについて説明が行われました。活動方法が県の指導と違うことがわかり、あらためて母親クラブのあり方を勉強しなおしたこともありです。

郷沢の会長は私で二人めです。自分自身勉強しながら、いっしょにようけんめい活動してきました。

郷沢地区は半農半漁で、活動もたいへんです。人数も少なうなにするにも子供会といっしょになります。高学年の活動は子供会といっしょにし、低学年の活動が主体です。

活動を紹介しますと、夏休みに入ってすぐ空きかん拾いをします。かやの茶屋高原や田代平へのバス遠足では、親も子ども童心にかえって汗を流しました。クリスマスは午前が映画、昼はお母さん手づくりのカレーライス、午後は話し合いをして過ごします。夏まきは、二、三年生の子供と親が鬼になる楽しい行事です。

親だけの研修として料理の講習、冠婚葬祭のマナー、希望者だけで月一回いけ花教室も開いています。

地域全体の子の

幸せを

さまざまな活動をするたびに、ほんとうに勉強になります。子供たちとのふれあい、親たちとのふれあい、とてもだいじなことだと思えます。

さいわい、私たちの地区は働きに出る人が少ないところですが、活動するにも都合のよい人たちが積極的に協力してくれるので助かります。

母親クラブの目的として、児童の事故防止のための奉仕活動、家庭養育に関する研修活動、親子の交流活動、目的だけは覚えていますが、なかなか思うようにいきません。

地域の子一人一人をしつかり握り、地域全体の子の幸せも考えられるような温かい母親になりたいものだと思います。

母親の子に対する豊かな愛情、養育についての正しい知識、学ぶものはたくさんあります。地域の母親たちが互いに語らい、多くの交流の中で、子供たちの健全育成の輪を広げていきたいと考えています。



折々の歌

ペンとれば沓くはるけき冬の夜の

ノートの冷えの なつかしきかな

ただ生きしのみでは悲し灯ともして

映出る汽車の 美しき夜

しんしんと雪は降りつみひなげしの

花の朱きを はげしく想えり

雨続き機械入れぬぬかる田に

手刈りする夜の 吾息らの歎き

冷害の家計簿作る窓の辺に

雪をしまきて 風の吹く音

減反の田も畦道も茂り増す

草に荒れたる 夕影深し

(以上三首・吉崎慶次郎作)

戸籍の窓



(蓬田村の人口：4,518人)

12月・1月受付分

◎お誕生おめでとうございます。

- 高田 晶仁 (諭・長男)
- 倉谷 景仰 (弘孝・長男)
- 田中 恵子 (毅・2女)
- 坂本 佐祐 (佐兵衛・長男)
- 川内 真二 (義昭・長男)
- 工藤 裕子 (義幸・長女)
- 中村 圭介 (良治・長男)
- 川崎 千尋 (節朗・長男)
- 大宮 哲 (仁・長男)
- 山口 牧子 (茂春・2女)
- 山口 慶子 (誓志・長女)

◎ご結婚おめでとうございます。

- (坂本 繁正 (中沢)
- (北本 真弓 (東京都)
- (清水 淳範 (蓬田)
- (小野 明美 (弘前市)
- (八幡 勝行 (広瀬)
- (山口 光子 (青森市)
- (久慈 幸四郎 (潮辺地)
- (今 静子 (青森市)
- (越田 豊彦 (広瀬)
- (樋口 きよみ (山形県)
- (坂本 清範 (中沢)
- (山崎 弘子 (岩手県)
- (相馬 勝春 (青森市)
- (堀 千鶴子 (潮辺地)
- (工藤 弘一 (青森市)
- (坂本 尚子 (中沢)
- (柿崎 健一 (広瀬)
- (福田 春代 (青森市)
- (上田 博行 (福岡県)
- (八幡 豊子 (高根)
- (加藤 恵三 (青森市)
- (佐々木 則子 (蓬田)
- (八戸 純一 (阿弥陀川)
- (小笠原 敏子 (常盤村)
- (坂本 勲 (長科)
- (宍戸 和子 (岩手県)
- (森 正則 (阿弥陀川)
- (今 利香子 (青森市)
- (中垣 朝生 (北海道)
- (藤本 真澄 (長科) (以上11月受付分)

- (阿保 利男 (広瀬)
- (小松 友子 (蓬田)
- (太田 薫 (平内町)
- (堀 静子 (潮辺地)
- (柿崎 勝博 (広瀬)
- (佐々木 えり子 (蟹田町)
- (川内 靖 (阿弥陀川)
- (深谷 美砂子 (栃木県)



- ◎中沢 (カッコは保護者)
- 吉田 則之 (勇丞)・坂本一吉 (今朝男)・福井義勝 (正幸)・藤田康一 (修一)・坂本 満 (宏考)・桜田浩一 (寛忠)・坂本真澄 (久男)・坂本明美 (千春)・櫛引恵子 (武義)・坂本ゆかり (建一)・福井雅子 (慶造)
- ◎長科
- 藤本 淳 (好司)・藤本陽司 (正敏)・坂本一高 (万蔵)・藤本正人 (巖)・古川洋介 (正隆)・三浦夏子 (浩司)・張間博子 (市郎)・下山奈美子 (嘉正)・永沢可奈子 (勝幸)・張間久美子 (敬雄)・張間綾子 (勇三)
- ◎阿弥陀川
- 森 大策 (正象)・川内智仁 (俊成)・青木倉之 (倉元)・川内茂樹 (章功)・古川利恵子

- (武道)・倉谷恵理子 (春二)・吉田朝美 (齊)・川内千恵子 (文雄)・川内信子 (進)・藤本昌子 (昭孝)
- ◎蓬田
- 木村成典 (サツエ)・田中和哉 (春雄)・木村雅人 (松蔵)・武井純二 (久美)・小松由紀子 (光範)・佐藤あき (勝美)・田中久美子 (茂雄)・武井志保子 (則慶)
- ◎郷沢

- ◎高根
- 八幡希悦 (弘幸)
- ◎廣瀬
- 秋元大樹 (和夫)・木村伸也 (二三男)・越田二郎 (長四郎)・佐井但輔 (武治)・阿保和憲 (晋男)・越田信也 (栄治)・久保田 恵 (喜代志)・柿崎美也子 (芳四郎)・稲葉奈々子 (慶昭)
- ◎潮辺地
- 久慈 勇 (久雄)・飯田卓也 (傳四郎)・久慈大樹 (行夫)・木村俊也 (松枝)・伊豫部良太 (良次)・小野寛敬 (博)・久慈ひろみ (義明)・田中菜津子 (仁)・木戸美子 (歳明)
- ◎高田英渡 (盛男)・瀧沢京一 (啓吾)・沼田圭二 (義光)・福井達也 (義光)・池田裕明 (敬)・池田英明 (敬)・川崎富貴子 (智幸)・福田里美 (通隆)

春よ来い 早く来い。
ほくたち一年生になります。

- (田村 成忠 (中沢)
- (市川千賀子 (青森市)
- (久慈 真悦 (潮辺地)
- (鈴木いね子 (田舎館村)
- (斎藤 茂徳 (潮辺地)
- (今 千賀子 (青森市)
- (木村 守 (蓬田)
- (稲山 佐知子 (埼玉県)
- (菊地 保夫 (東京都)
- (高田 正子 (郷沢)
- (福田 重次 (神奈川県)
- (八戸 弘子 (阿弥陀川)

◎お悔やみ申し上げます。

- 森 孝一 (阿弥陀川・53歳)
- 木村 マサ (蓬田・63歳)
- 佐井幸四郎 (広瀬・68歳)
- 飯田 チヨ (潮辺地・80歳)
- 古川 サト (阿弥陀川・83歳)
- 成田 卯之助 (潮辺地・84歳)
- 佐井 そめ (広瀬・93歳)
- 田中 清衛 (潮辺地・64歳)
- 坂本伊三郎 (長科・83歳)
- 武井 勉 (蓬田・60歳)
- 工藤 貴弘 (中沢・0歳)
- 高田与四郎 (郷沢・69歳)